

市民意見を受けた三次選定評価項目の見直し

1. 三次選定評価に関する検討のプロセス

- 2012年1月12日の第4回部会より三次選定評価項目の検討を開始し、これまで市民意見を反映させながら評価項目の内容を議論してきた。
- 本日の部会にて、第2回意見交換会意見交換会の結果を踏まえた評価項目及び配点の見直しを行う。その検討結果を次回委員会に報告し、確認を行う予定となっている。

(1) 三次選定評価項目の内容に関する議論の経緯

- 2012年1月12日の第4回部会において、三次選定評価項目の事務局素案より検討を開始した。
- 2012年1月26日の第7回委員会では、2011年11月から12月にかけて寄せられた市民意見やそれまでの部会の議論を反映し、修正した三次選定評価項目(案)を報告した。
- 2012年4月27日の第5回部会において、2012年2月から3月にかけて行った意見交換会で寄せられた意見を三次選定評価項目の内容に反映させる議論を行った。この結果、「類似施設の状況」「地域住民の居住状況」という小項目を追加し、また二次選定の条件であった「市境からの距離」が三次選定の評価項目に移行することとなった。
- 2012年5月20日の第9回委員会において、4月27日の部会の議論の内容を報告・確認した。
- 2012年5月25日の第6回部会において、三次選定の各評価項目の評価手法および点数付けの考え方について議論した。

(2) 三次選定評価項目の内容・配点に関する議論の経緯

- 2012年6月14日の第7回部会において、当日行った現地視察を踏まえ、再度三次選定の評価項目の評価手法および点数付けの考え方について議論した。この議論の中で、「6)分散化」という大項目が追加されることとなった。またワークショップを行い、各委員が各評価項目に対して配点を行った。

評価項目	A 熱回収施設、ごみメタン化施設、不燃・粗大ごみ処理施設									
	松浦 部長	佐藤 (長) 委員	百武 委員	橋本 委員	高橋 委員	金田 委員	大谷 委員	高木 委員	佐藤 (三) 委員	首岡 委員
1-1 敷地の形状	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1-2 地盤状況	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
1-3 敷地内や敷地外に設置する埋蔵物(埋蔵物の種類)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2 環境	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2-1 緑地等の保全	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2-2 水質等の保全	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2-3 希少動植物等の保全・配慮	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2-4 初期整備費の整備状況	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3 土地	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3-1 敷地周辺の整備状況	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3-2 地域住民の居住状況	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3-3 市境からの距離	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4 経済性	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4-1 初期整備費	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4-2 初期整備費、ライフライン整備費	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5 熱等の利用	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5-1 熱回収施設等の有無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5-2 バイオガス利用施設の有無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6 分散化	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6-1 熱回収施設等からの距離	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6-2 資源回収施設からの距離	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

ワークショップの結果(写真は熱回収施設等の小項目配点作業結果)

- 2012年6月28日の第8回部会において、6月14日に行ったワークショップの結果を踏まえ、各委員が付けた点数や配点の考え方を整理して共有した。そして再度三次選定の各評価項目の評価手法および点数付けの考え方について議論した。この結果、「緑地等の保全」と「希少動植物の保全・配慮」、「初期整備費」と「ライフライン整備費」、「熱利用施設の有無」と「バイオガス利用施設の有無」は評価手法が類似しているため、それぞれ項目を統合することとなった。

(3) 検討委員会への報告と確認

- 2012年7月6日の第10回委員会において、6月28日の部会の議論の内容を報告・確認した。この結果に基づき、2012年7月から8月にかけての第2回意見交換会にて意見を募った。

第2回意見交換会 (2012年7月26日~8月1日)

どこに建てる?
建設候補地選定の進め方の検討

建設候補地選定の流れ

- 2011.11 意見募集
 - 選定の進め方
 - 評価の視点
- 2012.2 意見交換会・意見募集
 - 第二次選定案
 - 第三次選定評価項目案
- 2012.7~8 意見交換会・意見募集
 - 第三次選定 評価項目・配点案

第三次選定 評価項目・配点案(案)
建設候補地の第三次選定の評価項目と配点の案です。学識経験者、事業者、市民委員がこれまでに頂いた市民のみなさんの意見を踏まえて作成しました。

評価項目	熱回収施設	資源ごみ処理施設
1) 機能/維持管理	9	9
1-1 敷地の形状	5	3
1-2 地盤状況	5	6
1-3 敷地内や敷地外に設置する埋蔵物(埋蔵物の種類)	7	6
2) 環境	6	24
2-1 緑地等の保全	14	12
2-2 水質等の保全	6	6
2-3 希少動植物等の保全・配慮	6	6
2-4 初期整備費の整備状況	9	5
3) 土地	3	17
3-1 敷地周辺の整備状況	9	7
3-2 地域住民の居住状況	1	1
3-3 市境からの距離	8	7
4) 経済性	10	16
4-1 初期整備費	10	8
4-2 初期整備費、ライフライン整備費	2	11
5) 熱等の利用	2	11
5-1 熱回収施設等の有無	2	8
5-2 バイオガス利用施設の有無	2	13
6) 分散化	2	21
6-1 熱回収施設等からの距離	2	8
6-2 資源回収施設からの距離	2	13

ご意見をお聞かせください
 ①検討しているエネルギーの有効活用について(CHP 家の燃料、都市ガス・発電等)
 ②建設に必要な付加価値(防災拠点機能・資源化推進拠点等)
 ③建設候補地選定の評価項目・配点案について
 ※検討案の詳細に関する資料は、7月26日から整理型施設整備課(市役所本庁舎7階)で閲覧できます(南田市ホームページでも閲覧可)。
 募集期間 7月26日~8月10日
 提出方法 直接、郵送、FAXまたはEメールで整理型施設整備課(〒194-8520 南野 2-2-22、TEL:724-4384 Fax:050-3160-5479 E-mail:amcity1010@city.maebida.tokyo.jp)へ、市民意見交換会の会場でも提出できます。

意見交換会用に作成した資料(建設候補地分)

(4) 三次選定評価項目の見直し

- 9月21日(本日)の第9回部会にて、意見交換会の結果を踏まえた評価項目及び配点の見直しを行う。
- 見直しは、まず委員各自にて前回部会において検討、設定したものを見直ししていただく。
- 部会ではこの結果を集計してとりまとめ、議論により調整した上で、部会としての一定の結論とする。

(5) 検討委員会への報告と確認

- 10月4日の第12回検討委員会において、部会での検討結果を報告し、確認を行う。

2. 三次選定評価に関する主な市民意見と現状もしくはこれまでの経緯

・自然環境の保全や分散化を望む意見については、これまでも十分に議論してきたと認識する。
 ・寄せられた意見の中には興味深いものもあったが、検討の技術的、時間的制約から議論に反映できないものもある。

項目	主な市民意見	現状もしくはこれまでの経緯
1) 自然環境の保全	① 緑豊かな町田の貴重な自然に配慮して候補地を選定していただきたい。	〔候補地選定の方向性に関するご意見〕 ↓ これまでの委員会や部会において、自然環境の保全を求める市民意見を議論に反映してきた。
	② 三輪エリアは横浜市青葉区寺家町の緑地の近くだと思いが自然環境は配慮されているのか。	
	③ 人々のより良い環境のための施設であるのなら、今ある貴重な環境（緑地、農地、森林等）を壊して建設することほど愚かなことはない。	
2) 分散化	① 施設の一極集中化は反対する。この点を配慮した選定をしていただきたい。	〔候補地選定の方向性に関するご意見〕 ↓ これまでの委員会や部会において、施設の分散化を求める市民意見を議論に反映してきた。
	② 一部の地域に施設を押しつけるのはやめてほしい。	
	③ 資源化施設の分散化が2ヶ所では分散化とはいえないのではないのか。	
	④ 分散化と言いながら、分散化の可能性は低いのではないのか。	
3) 交通状況について	交通渋滞の影響 ① 収集運搬車の通行による影響は、渋滞などの影響も考慮すべきである。	〔評価項目の内容に関するご意見〕 ↓ 道路の幅員の条件により一定レベルの考慮をしている。
	搬出アクセス ② 資源ごみ処理施設の場合、搬入だけでなく業者に出す搬出もあるため、搬出アクセスも考えて選定をされたらいかがか。	
4) 評価方法・項目・配点について	余熱等の利用 ① 評価項目5「余熱等の利用に対して」について、一般的な家庭で使うことを考えていないのか。	〔評価項目の内容に関するご意見〕 ↓ 条件が明らかにならなければ具体的な検討は困難であるため、現時点では評価方法に反映することが難しい。
	評価項目の配点 ② 安全対策に充分配慮した構造物を建設するのであれば、住宅が密集している地区が候補地に近接していてもいいはずではないか。	

項目	主な市民意見	現状もしくはこれまでの経緯	
4) 評価方法・項目・配点について	評価項目の配点	④ 市境からの距離の配点(1点)は低過ぎるのではないか。	〔評価項目の内容、配点に関するご意見〕 ↓ 現状の評価項目内容及び配点は、これまでの委員会や部会において、評価のやり方、評価項目の内容、各評価項目の配点について議論してきた。このため、一定の客観性、妥当性を有していると考えている。
		⑤ 余熱等の利用の評価があまりにも低いため、改善を求める。	
		⑥ 「評価する」という考え方について提案する。 《考え方(方法)》 ①大項目としての現在提示されている満点の配点は無くす。 ②各委員の提示した小項目の配点をポイント点とする。 ③各小項目の評価を0～5の6段階とする。 ④②のポイント点と③の評価点を掛け合わせる。 ⑤④の点を大項目の評価点とする。 ⑥合計を総合評価点とする。 ⑦この総合評価点を施設建設候補地の判断基準の参考として提案する。 《理由》 現在の項目による配点は各委員の考え方による項目別の重み付けとして理解できるが、「評価する」という点において、小項目での満点方法でのばらつきは好ましくないと考えられる。各委員の考え方のまとめをポイント点として表され、それを評価点と掛け合わせることににより数値は大きくなるが、総合評価の判断がし易くなるのではないかと考えられる。	
		⑦ どういう基準、根拠で1点の価値を算出しているかが分からない。どの項目の1点も同じ価値だとは言えないと思う。点数という数字にする意味はないと思う。あらかじめ、候補地の情報を入力して逆算し、狙いを定めている候補地の点数が良くなるような配点にしたと疑われても反論できないのではないか。各項目で◎○△×程度の評価で、あとは総合評価とする程度が適切ではないか。	
		⑧ バイオガスのタンクと燃料の施設の場所を一体化して考えている割には、「地盤状況等」の配点がたった5点しかない。直下型地震とか立川断層等が言われている中、この点数はとても疑問である。	

(2. 三次選定評価に関する主な市民意見と対応方針(案) 前ページからの続き)

項目		主な市民意見	現状もしくはこれまでの経緯
4) 評価方法・項目・配点について	三次選定の評価項目の追加意見	⑨ 現在の渋滞状況、交通への影響	<p>〔三次選定の評価項目の追加内容に関するご意見〕</p> <p>↓</p> <p>前述の通り、交通への影響については道路幅員の条件等により一定レベルで検討、反映済みである。</p> <p>将来の交通混雑の可能性について、より詳細なシミュレーションにより予測精度を向上させることは技術的には可能であるが、現状の交通量に関する詳細データの取得に要する時間、シミュレーションに要する時間と費用の点から、現在のスケジュールでは実施困難と考えられる。</p>
		⑩ 今後の人口の若年層の割合を考慮に入れた近隣の人口状況	<p>〔三次選定の評価項目の追加内容に関するご意見〕</p> <p>↓</p> <p>人口及び人口密度を将来にわたる一定の期間で予測するために、若年層の割合を考慮に含めることは検討の余地がある。</p> <p>しかし町田市当局に確認したところ、地区単位での年齢別人口及び将来予測に活用できるデータは現在のところ存在しないとのことである。</p> <p>新規にデータを取得することは不可能ではないが、調査に要する時間と費用の点から、本委員会の検討の範囲内で実施することは困難と考えられる。</p>
		⑪ 周辺住民の安全管理	<p>〔三次選定の評価項目の追加内容に関するご意見〕</p> <p>↓</p> <p>施設はリスク管理、安全管理をしっかり行い、情報公開にも努めるものとする。このため、候補地選定においては差が生じないと考えられることから三次選定評価項目に反映しない。</p>

3. 6月14日第7回建設候補地選定専門部会で行われたワークショップ結果の再提示

(1)委員の三次選定評価項目の重み付けに対する考え方

第7回建設候補地選定専門部会において、三次選定評価の大項目及び小項目に重み付けを行うためのワークショップを行った。

三次選定評価項目の重み付けにあたっての、各委員の考え方は以下の通りである。ワークショップの際の発言や後日寄せられた回答（欠席委員の場合）から整理した。

	松波部会長	佐藤(臣)委員	百武委員	稲木委員	高橋委員	金田委員	大谷委員	高木委員	佐藤(正)委員	富岡委員
熱回収施設等	<ul style="list-style-type: none"> 配点については、全ての評価項目が平等になる方がよいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑の保全、施設周辺の道路状況、施設周辺の地域住民の居住状況、熱回収施設の利用のあり方を重視した方がよいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実現可能性、経済性、環境を重視した方がよいと考えている。 緑地の保全と希少動物に関する評価項目と、経済性に関する細かな評価項目はそれぞれ1つの評価項目にまとめてよいと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地の形状、収集運搬の効率、緑地の保全、施設周辺の道路状況、施設周辺の地域住民の居住状況を重視している。 施設から市境までの距離の評価項目は重要ではないと考えている。 改めて思うが、収集運搬の効率が重要だと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要面積が容易に確保できることを最大点とし、次に環境への配慮を考えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の関心は設置場所と環境にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設周辺の道路状況、施設周辺の地域住民の居住状況、用地買収取得費（経済性）、熱回収施設の位置が重要な評価項目だと考えている。 今の技術なら敷地の形状は問題ないと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全般的に同じ評価をしている。 施設周辺の地域住民の居住状況等の問題に重みをおいて評価する必要があると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑地保全に対する市民の意見が多いため（建設候補地の視察研修を終え、その重要性を痛感）。 民有地で経済コストを考えると評価点の重みは考慮するが、機能と維持管理面で建設候補地に上げられる箇所もある。 首都直下型地震を考慮（地盤と形状起伏等、施設の耐震性を重要視する） 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地の形状、緑の保全等の環境へ配慮が重要だと考えている。また、施設周辺の道路状況に関連して道路の幅員等の問題、施設周辺の地域住民の居住状況に関連して地域住民の思い等を重視する必要があると考えている。最も重要なのは環境保全だと考えている。
資源ごみ処理施設	<ul style="list-style-type: none"> 熱回収施設と全く同じ考え方で評価した。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境、土地利用を重視して考えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 資源化施設同士の距離は分散化という観点で意味があるため、多く配点した。 	<ul style="list-style-type: none"> 資源化施設同士の分散化に多く配点した。 	<ul style="list-style-type: none"> 当施設及び他の迷惑施設を考えた分散化を最大点として、なるべく住民負担が少なくなることを考えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 熱回収設備設置場所と分離するのは、市民への負担を平等にするという意味があり、熱回収施設配点と同じ傾向となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集運搬の効率、施設の分散化を重視する。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設から市境までの距離はいらないと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全と経済性も考慮の上、分散化は必要。 一極集中ではなく、施設の故障や災害時に対応すべく施設が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の分散化を重視している。

(2)各委員の配点結果

第7回建設候補地選定専門部会において、三次選定評価の大項目及び小項目に重み付けを行うためのワークショップを行った。

大項目については、持ち点を100点とし各委員に点数を配分していただいた。小項目に関しては、各委員に小項目数分のシール（A.熱回収施設等18枚、B.資源ごみ処理施設17枚）を配布し重み付けを行っていただいた。（小項目の点数は小数点以下第3位で四捨五入しているため、合計が合わない箇所がある）

1)A.熱回収施設、ごみメタン化施設、不燃・粗大ごみ処理施設の各委員の評価項目ごとの点数

評価項目		松波部会長			佐藤（臣）委員			百武委員			稲木委員			高橋委員		
		大項目の 点数	シールの 枚数	小項目の 点数												
1)機能 ／維持管理	①-1 敷地の形状	20	◎	5.00	20	◎	6.67	25	◎◎	10.00	20	◎◎	8.00	40	◎◎◎	17.14
	①-2 地盤状況等		◎	5.00						◎		5.71				
	②開発行為や建築行為に対する規制等		◎	5.00		◎	6.67		◎◎	10.00		◎	4.00		◎◎	11.43
	③収集運搬の効率		◎	5.00		◎	6.67		◎	5.00		◎◎	8.00		◎	5.71
2)環境	①緑地等の保全	20	◎	5.00	30	◎◎	12.00	25	◎◎◎	12.50	30	◎◎	10.00	25	◎◎	12.50
	②水源地の保全		◎	5.00					◎◎	8.33		◎	5.00		◎	6.25
	③希少動植物の保全・配慮		◎	5.00		◎	6.00					◎	5.00		◎	6.25
	④周辺道路の整備状況		◎	5.00		◎◎	12.00		◎	4.17		◎◎	10.00			
3)土地 利用	①教育・福祉施設等への配慮	20	◎	5.00	30	◎	10.00	10			20	◎	6.67	15	◎	5.00
	②類似施設の状況		◎	5.00					◎	10.00					◎	5.00
	③地域住民の居住状況		◎	5.00		◎◎	20.00					◎◎	13.33		◎	5.00
	④市境からの距離		◎	5.00												
4)経済性	①用地取得費	20	◎	6.67	10	◎	3.33	25	◎◎	10.00	20	◎	10.00	15	◎◎	10.00
	②初期整備費		◎	6.67		◎	3.33		◎◎	10.00		◎	5.00		◎	5.00
	③ライフライン整備費		◎	6.67		◎	3.33		◎	5.00		◎	10.00			
5)余熱等利用	①熱利用施設等の有無	20	◎	6.67	10	◎◎	5.00	15			10	◎	5.00	5		
	②バイオガス利用施設の有無		◎	6.67		◎	2.50		◎	15.00		◎	5.00			
	③バス拠点等の有無		◎	6.67		◎	2.50								◎	5.00
合計		100		100.00	100		100.00	100		100.00	100		100.00	100		100.00

評価項目		金田委員			大谷委員			高木委員			佐藤（正）委員			富岡委員		
		大項目の 点数	シールの 枚数	小項目の 点数												
1)機能 ／維持管理	①-1 敷地の形状	40	◎◎◎	13.33	30			25	◎◎	10.00	30	◎◎	10.00	25	◎◎	12.50
	①-2 地盤状況等		◎◎	8.89		◎	6.00		◎	5.00		◎◎	10.00		◎	6.25
	②開発行為や建築行為に対する規制等		◎◎	8.89		◎◎	12.00		◎	5.00		◎	5.00			
	③収集運搬の効率		◎◎	8.89		◎◎	12.00		◎	5.00		◎	5.00		◎	6.25
2)環境	①緑地等の保全	30	◎◎	12.00	20	◎	6.67	20	◎	5.00	30	◎◎	10.00	25	◎◎◎	9.38
	②水源地の保全		◎	6.00		◎	6.67		◎◎	10.00		◎◎	6.25			
	③希少動植物の保全・配慮		◎	6.00		◎	5.00		◎	5.00		◎	5.00		◎	3.13
	④周辺道路の整備状況		◎	6.00		◎	6.67		◎	5.00		◎	5.00		◎◎	6.25
3)土地 利用	①教育・福祉施設等への配慮	20	◎	10.00	20	◎◎	10.00	15	◎	5.00	20	◎	5.00	20		
	②類似施設の状況		◎	5.00					◎	5.00						
	③地域住民の居住状況		◎	10.00		◎	5.00		◎◎	10.00		◎	5.00		◎	20.00
	④市境からの距離											◎	5.00			
4)経済性	①用地取得費	10	◎	5.00	20	◎	6.67	25	◎	8.33	10	◎	10.00	20	◎	6.67
	②初期整備費					◎	6.67		◎	8.33					◎	6.67
	③ライフライン整備費		◎	5.00		◎	6.67		◎	8.33					◎	6.67
5)余熱等利用	①熱利用施設等の有無	0			10	◎	3.33	15	◎	5.00	10	◎	10.00	10	◎	5.00
	②バイオガス利用施設の有無					◎◎	6.67		◎	5.00					◎	5.00
	③バス拠点等の有無								◎	5.00						
合計		100		100.00	100		100.00	100		100.00	100		100.00	100		100.00

2) B.資源ごみ処理施設の各委員の評価項目ごとの点数

評価項目		松波部会長			佐藤(臣)委員			百武委員			稲木委員			高橋委員		
		大項目の 点数	シールの 枚数	小項目の 点数												
1)機能 /維持管理	①-1 敷地の形状	20	◎	5.00	25	◎	8.3	25	◎◎	12.50	20	◎◎	6.67	30	◎◎	12.00
	①-2 地盤状況等		◎	5.00					◎	3.33						
	②開発行為や建築行為に対する規制等		◎	5.00		◎	8.33		◎	6.25		◎	3.33		◎◎	12.00
	③収集運搬の効率		◎	5.00		◎	8.33		◎	6.25		◎◎	6.67		◎	6.00
2)環境	①緑地等の保全	20	◎	5.00	25	◎	5.00	25	◎	6.25	20	◎	5.00	20	◎	6.67
	②水源地の保全		◎	5.00		◎	6.25		◎	5.00		◎	6.67			
	③希少動植物の保全・配慮		◎	5.00		◎	6.25		◎	5.00		◎	6.67			
	④周辺道路の整備状況		◎	5.00		◎◎	10.00		◎	6.25		◎	5.00			
3)土地 利用	①教育・福祉施設等への配慮	20	◎	5.00	15	◎	3.75	5			20	◎	5.00	10	◎	5.00
	②類似施設の状況		◎	5.00		◎	3.75		◎	5.00		◎	5.00			
	③地域住民の居住状況		◎	5.00		◎◎	7.50					◎◎	10.00			
	④市境からの距離		◎	5.00												
4)経済性	①用地取得費	20	◎	6.67	15	◎	5.00	25	◎◎	10.00	10	◎	10.00	10	◎	5.00
	②初期整備費		◎	6.67		◎	5.00		◎◎	10.00					◎	5.00
	③ライフライン整備費		◎	6.67		◎	5.00		◎	5.00						
6)施設の分散化	①熱回収施設等からの距離	20	◎	10.00	20	◎	10.00	20	◎	6.67	30			30	◎◎◎	18.00
	②資源化施設同士の距離		◎	10.00		◎	10.00		◎◎	13.3		◎◎	30.00		◎◎	12.00
合計		100		100.00	100		100.00	100		100.00	100		100.00	100		100.00

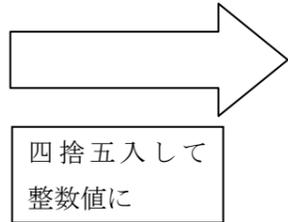
評価項目		金田委員			大谷委員			高木委員			佐藤(正)委員			富岡委員		
		大項目の 点数	シールの 枚数	小項目の 点数												
1)機能 /維持管理	①-1 敷地の形状	40	◎◎	10.00	20	◎	5.00	20	◎	5.00	20	◎◎	8.00	20	◎◎	13.33
	①-2 地盤状況等		◎◎	10.00					◎	4.00					◎	6.67
	②開発行為や建築行為に対する規制等		◎◎	10.00		◎	5.00		◎	5.00		◎	4.00			
	③収集運搬の効率		◎◎	10.00		◎◎	10.00		◎	5.00		◎	4.00			
2)環境	①緑地等の保全	30	◎◎	12.00	20	◎	5.00	25	◎	6.25	25	◎◎	8.33	25	◎◎	7.14
	②水源地の保全		◎	6.00		◎	5.00		◎◎	8.33		◎◎	7.14			
	③希少動植物の保全・配慮		◎	6.00		◎	6.25		◎	4.17		◎	3.57			
	④周辺道路の整備状況		◎	6.00		◎◎	10.00		◎	6.25		◎	4.17		◎◎	7.14
3)土地 利用	①教育・福祉施設等への配慮	20	◎	10.00	15	◎◎	10.00	15	◎	3.75	15	◎	7.50	20		
	②類似施設の状況						◎		3.75	◎		7.50				
	③地域住民の居住状況		◎	10.00		◎	5.00		◎◎	7.50					◎	20.00
	④市境からの距離															
4)経済性	①用地取得費	10	◎	5.00	15	◎	5.00	20	◎	6.67	20	◎	10.00	15	◎	5.00
	②初期整備費					◎	5.00		◎	6.67		◎	10.00		◎	5.00
	③ライフライン整備費		◎	5.00		◎	5.00		◎	6.67					◎	5.00
6)施設の分散化	①熱回収施設等からの距離	0			30	◎	10.00	20	◎	10.00	20	◎	10.00	20	◎	6.67
	②資源化施設同士の距離					◎◎	20.00		◎	10.00		◎	10.00		◎◎	13.33
合計		100		100.00	100		100.00	100		100.00	100		100.00	100		100.00

(3) ワークショップ結果の整理と補正

ワークショップの結果得られた各項目の配点結果の平均値を算出した。その値を四捨五入し、最終的な配点結果とした。(小項目の点数は小数点以下第3位で四捨五入しているため、合計が合わない箇所がある)

A. 熱回収施設、ごみメタン化施設、不燃・粗大ごみ処理施設の各項目の配点の平均値

評価項目		委員の平均値	
		大項目の点数	小項目の点数
1) 機能 ／維持管理	①-1 敷地の形状	27.50	9.26
	①-2 地盤状況等		4.69
	②開発行為や建築行為に対する規制等		6.80
	③収集運搬の効率		6.75
2) 環境	①緑地等の保全	25.50	9.50
	②水源地の保全		5.85
	③希少動植物の保全・配慮		4.14
	④周辺道路の整備状況		6.01
3) 土地 利用	①教育・福祉施設等への配慮	19.00	5.67
	②類似施設の状況		3.00
	③地域住民の居住状況		9.33
	④市境からの距離		1.00
4) 経済性	①用地取得費	17.50	7.67
	②初期整備費		4.67
	③ライフライン整備費		5.17
5) 余熱等利用	①熱利用施設等の有無	10.50	4.00
	②バイオガス利用施設の有無		4.58
	③バス拠点等の有無		1.92
合計		100	100

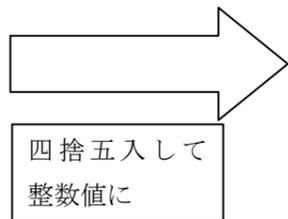


A. 熱回収施設、ごみメタン化施設、不燃・粗大ごみ処理施設の各項目の配点結果

評価項目		配点結果	
		大項目の点数	小項目の点数
1) 機能 ／維持管理	①-1 敷地の形状	28	9
	①-2 地盤状況等		5
	②開発行為や建築行為に対する規制等		7
	③収集運搬の効率		7
2) 環境	①緑地等の保全	26	10
	②水源地の保全		6
	③希少動植物の保全・配慮		4
	④周辺道路の整備状況		6
3) 土地 利用	①教育・福祉施設等への配慮	19	6
	②類似施設の状況		3
	③地域住民の居住状況		9
	④市境からの距離		1
4) 経済性	①用地取得費	18	8
	②初期整備費		5
	③ライフライン整備費		5
5) 余熱等利用	①熱利用施設等の有無	11	4
	②バイオガス利用施設の有無		5
	③バス拠点等の有無		2
合計		102	102

B. 資源ごみ処理施設の各項目の配点の平均値

評価項目		委員の平均値	
		大項目の点数	小項目の点数
1) 機能 ／維持管理	①-1 敷地の形状	24.00	8.58
	①-2 地盤状況等		3.40
	②開発行為や建築行為に対する規制等		5.89
	③収集運搬の効率		6.13
2) 環境	①緑地等の保全	23.50	6.66
	②水源地の保全		6.06
	③希少動植物の保全・配慮		4.79
	④周辺道路の整備状況		5.98
3) 土地 利用	①教育・福祉施設等への配慮	15.50	5.00
	②類似施設の状況		3.50
	③地域住民の居住状況		6.50
	④市境からの距離		0.50
4) 経済性	①用地取得費	16.00	6.83
	②初期整備費		5.33
	③ライフライン整備費		3.83
6) 施設の分散化	①熱回収施設等からの距離	21.00	8.13
	②資源化施設同士の距離		12.87
合計		100	100



B. 資源ごみ処理施設の各項目の配点結果

評価項目		配点結果	
		大項目の点数	小項目の点数
1) 機能 ／維持管理	①-1 敷地の形状	24	9
	①-2 地盤状況等		3
	②開発行為や建築行為に対する規制等		6
	③収集運搬の効率		6
2) 環境	①緑地等の保全	24	7
	②水源地の保全		6
	③希少動植物の保全・配慮		5
	④周辺道路の整備状況		6
3) 土地 利用	①教育・福祉施設等への配慮	17	5
	②類似施設の状況		4
	③地域住民の居住状況		7
	④市境からの距離		1
4) 経済性	①用地取得費	16	7
	②初期整備費		5
	③ライフライン整備費		4
6) 施設の分散化	①熱回収施設等からの距離	21	8
	②資源化施設同士の距離		13
合計		102	102